

検査説明



PET-CT 検査

Positron Emission Tomography – Computed Tomography

全身のがん細胞の増殖を早期にとらえる検査です。
検査時間は約30分です。【検査範囲】 頭部～大腿部
PET-CTの特長は、機能画像と形態画像が一度に撮影でき、微細病変が発見できるので、がんの早期発見・早期治療につながる点です。



超音波 検査

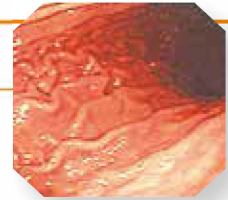
Ultrasound

腹部超音波は、肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓を観察する検査法です。
検査は腹部にゼリーをぬり、端子をあてて様々な方向から肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓を観察し、がんやポリープなどの病変がないかどうか確かめます。
検査時間は約15～20分です。

内視鏡 検査

esophagogastro-duodenoscopy

内視鏡で食道・胃・十二指腸を直接観察する検査です。
検査時間は約10～15分です。



3T-MRI 検査

Magnetic Resonance Imaging

MRIは磁場と電波を使って、体内に豊富に存在するプロトン（水素原子核）に共鳴現象をおこさせて体内を画像化して観察する検査です。
頭蓋内病変の診断に用いられ、脳動脈瘤の検出にも優れています。
検査時間は約30分です。



心電図 検査

Electrocardiogram

心電図検査とは、心臓の拍動に伴って生じる電氣的活動を記録する検査です。不整脈や心臓肥大の有無、心筋虚血（狭心症、心筋梗塞）の状態などを調べます。
検査時間は約5～10分です。



PET- MRI 検査

Positron Emission Tomography – Magnetic Resonance Imaging

PET-MRIは、高感度・高分解能PET画像と高磁場MRIの高精細画像により正確な診断を行う検査です。
気づきにくいがんの早期発見や、物忘れの原因が認知症など病的な機能低下によるものであるかなど、非侵襲的に判断する能力に優れています。
【検査範囲】 頭部～大腿部（腫瘍コース）・頭部（認知症脳ドックコース）

裏面に続きます ▶